

B4S™

Bando Stretchable Strain Sensor for Swallowing ビーフォーエス

嚥下運動モニタ



CSセンサ

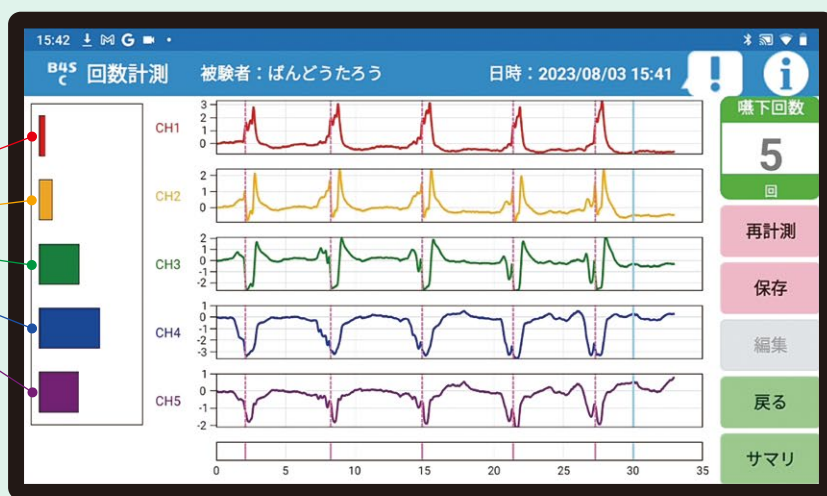
CH1

CH2

CH3

CH4

CH5



共同研究開発：藤田医科大学リハビリテーション部門

特長

- 嚥下中の喉頭の動きを可視化します。
- 視覚的バイオフィードバックトレーニングができます。
- 嚥下回数、嚥下タイミングの計測ができます。直近3回分のデータ変化を確認できます。
- PCにデータを取り込み、測定結果レポートが作成できます。(サンプル:本チラシ裏面)

第25回日本言語聴覚学会 in 兵庫・神戸 B4S™ハンズオンセミナー(2024年6月21日)アーカイブ配信中

演題:「嚥下運動モニタB4S™」の評価と訓練における活用方法と有用性

講師: 稲本陽子先生(藤田医科大学保健衛生学部 リハビリテーション学科 教授)



セミナー動画

*本製品は医療機器ではありません。疾病の診断、治療、予防を目的とした嚥下機能評価については医療関係者にご相談ください。
*本カタログに記載の製品仕様は改良のため、予告なしに変更する場合があります。

製造元

バンドー化学株式会社

〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町4-6-6
URL: <https://www.bandogrp.com>

販売元

インターリハ株式会社
Inter Reha
Advanced Rehabilitation and Healthcare

〒114-0016 東京都北区上中里1-37-15
TEL:03(5974)0231
FAX:03(5974)0233
<https://www.irc-web.co.jp>
b4s@irc-web.co.jp



製品特設ページ

嚥下機能評価表

ばんどうたろう 様

嚥下運動モニタ

B4S™

評価結果レポート

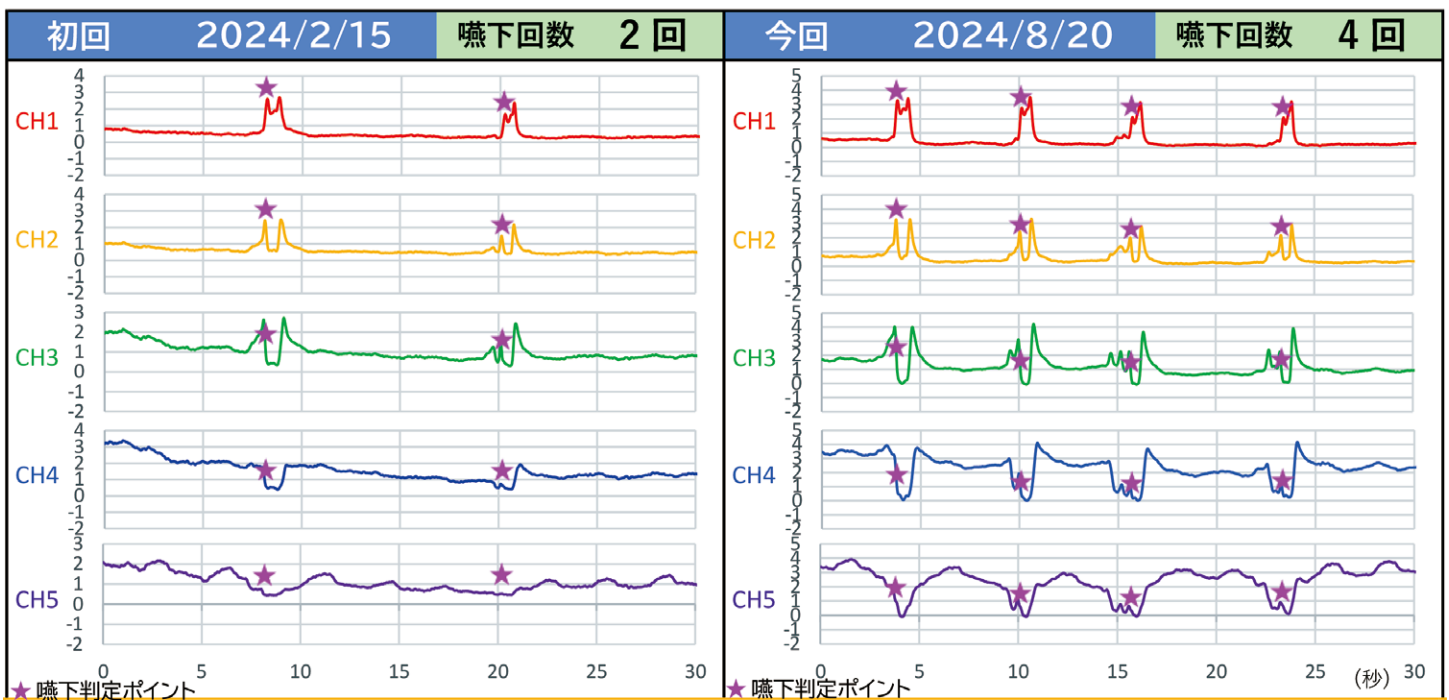
(利用者様用)

数値評価

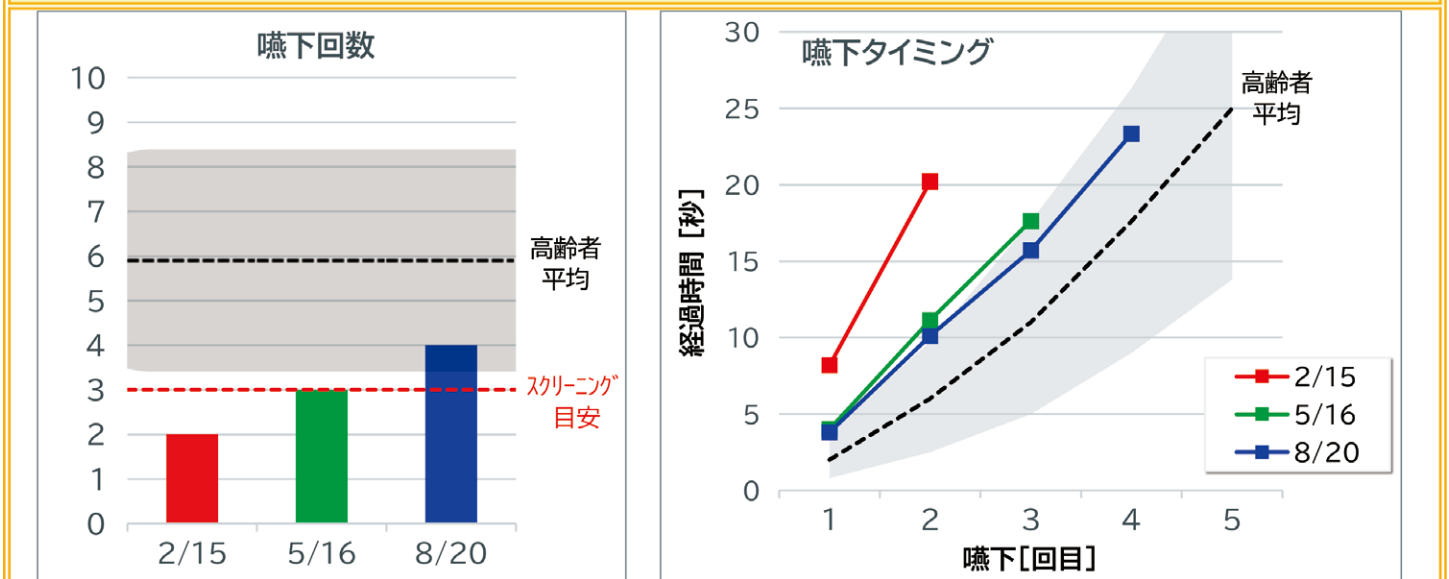
測定日	評価	嚥下回数	嚥下間隔(秒)					平均
			0-1間隔	1-2間隔	2-3間隔	3-4間隔	4-5間隔	
2024/2/15	初回	2回	8.2	12.0	-	-	-	10.1
2024/5/16	前回	3回	4.0	7.1	6.5	-	-	5.9
2024/8/20	今回	4回	3.8	6.3	5.6	7.6	-	5.8

項目評価

嚥下回数	嚥下回数3回以上は正常です。初回より増えています。今後も継続した嚥下訓練により嚥下機能の維持・向上を目指しましょう。
嚥下の間隔	初回より嚥下間隔が短くなり、スムーズに連続した嚥下ができるようになっていました。今後も継続した訓練により維持・向上を目指しましょう。



日々の口腔機能訓練による成果の確認



参考) 小口和代、機能的摂食・嚥下障害スクリーニングテスト「反復唾液嚥下テスト」(RSST)の開発と応用 藤田学園医学雑誌2004

スクリーニング目安: 嚥下機能障害のカットオフ値
 高齢者平均: 健康高齢者30名(68.1歳±6.8), 平均嚥下回数: 5.9回±2.3

※嚥下運動モニタB4Sは医療機器ではありません。疾病の診断、治療を目的とした嚥下機能評価については専門の病院にご相談ください。